

個人線量計(ガラスバッジ)による 測定結果をお知らせします

平成27年9～11月の3カ月間、ガラスバッジ配布による個人の外部被ばく線量の測定を実施しました。

測定を希望された28317人のうち、3カ月間計測した24667人表1の追加被ばく線量の平均値は、0.07ミリシーベルトでした表2。

年齢別に見てみると、16歳以上の平均値は0.08ミリシーベルト、15歳以下の平均値は、0.05ミリシーベルトとなっています。平成23年度から実施している15歳以下の平均値推移は、図1のとおり、年々減少してきています。

■問／放射線健康管理課

☎525-7681



表1 対象者数・配布者数・回収数 ※平成27年12月25日現在 【単位：人】

対象者数	申込件数	申込率	回収数 (期限内提出)	回収数内訳			未回収者 (キャンセルや紛失・損壊を含む)
				3カ月間 測定者数	2カ月間 測定者数	1カ月間 測定者数	
288,040	28,317	9.8%	25,046	24,667	290	89	3,271

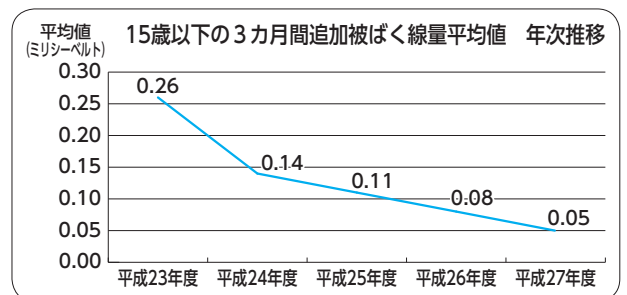
表3 1年間の追加被ばく線量推計値

① 3カ月間の追加被ばく線量 (ミリシーベルト)	② ①の人数 (人)	③ (①×④) 年間線量 推計値 (ミリシーベルト)	④ ③の人数 (人)	⑤ 割合 (%)	全年齢24,667人の追加被ばく線量の分布を示しています。 ※「追加被ばく線量」とは、測定値から自然放射線を差し引いた後の数値です。原発事故以降に追加された被ばく線量です。
0.1未満	9,371	1未満	24,240	98.27	
0.1	12,954				
0.2	1,915				
0.3	301	2未満	373	1.51	
0.4	72				
0.5	28	3未満	40	0.16	
0.6	9				
0.7	3				
0.8	6	4未満	7	0.03	
0.9	1				
1.0以上	7	4以上	7	0.03	

表2 3カ月間測定者の平均値

		人数 (人)	追加被ばく線量平均値 (ミリシーベルト)
全年齢		24,667	0.07
内訳	0～15歳	5,973	0.05
	16歳以上	18,694	0.08

図1



※平成23年度は妊婦も含む。

3カ月間の線量を4倍した年間線量の推計値では、1ミリシーベルト未満の方が、98.27%になります表3。
レントゲン室や飛行機にガラスバッジを持ち込まれた方、浜通り地方の避難区域内などで仕事をされている方、屋外に置いた時間が長かった方などに、追加被ばく線量が高い傾向がみられます。

なお、3カ月間の測定結果で高めの値が出た方などには、保健師などが個別に相談対応を行っています。

市医師会や市の放射能対策アドバイザーなどの委員で構成する「福島市健康管理検討委員会」は、今回の3カ月間で測定された線量から推定した年間積算線量からは、「将来、放射線によるがんの増加などの可能性は少ない」と判断しています。

測定された方へは2月から順次、その結果を送付しています。

※このページの内容について詳しく知りたい方は、お問い合わせください。ホームページをご覧ください。

ガラスバッジ 福島市